

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



ワクチン接種で牛の異常産を予防しましょう

流産、早産、死産、体形異常等を主徴とする「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因で発生します。中でも、蚊やヌカカが媒介するアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症による異常産は、時に大規模な発生となり、経済的な損失が大きいと言われています。牛の異常産は全国で散発しており、熊本県でも2013年及び2019年に牛のアカバネ病が、更に2019年には牛でピートンウイルスの関与が疑われる異常産が発生しました。異常産を引き起こすこれら4つの疾病は、ワクチンを接種することで予防できますので、母牛にワクチンを毎年接種し、農場及び地域全体の抗体保有率を高めることが重要です。

主な牛アルボウイルス感染症の症状とワクチンによる予防

疾病名	アカバネ病	アイノウイルス感染症	ピートンウイルスの関与を疑う異常産	チュウザン病
発生時期	夏～翌年春			秋～翌年春
臨床症状				
	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）			
ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状 			<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、盲目、起立不能 ・体形異常はない ※ディアギュラウイルス感染症も同様の症状
	異常産3種混合ワクチン(アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症) 異常産4種混合ワクチン(上記+ピートンウイルスの関与を疑う異常産)			
<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛に4週間隔で2回、筋肉内に接種する。 ・前年に接種経験のある牛は、1回、筋肉内に接種する。 ・ウイルスを媒介する吸血昆虫(蚊やヌカカ)が活発化する前に接種する。 				

国内で高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生！！

今シーズン（2021～2022年）も昨シーズン同様、世界的に高病原性鳥インフルエンザの発生が相次いでいます。国内においてもR4.2.1時点で、家きんで**9県15事例**、野鳥から**14件**の陽性事例が確認されており、より一層警戒が必要です。

日々の健康観察をしっかりと行い、「下記のいずれかの症状に当てはまる」「何か異状(産卵率の低下等)がみられる」「死亡羽数が増えている」等を確認した場合は、速やかに当所まで御連絡いただくようお願いします。

元気消失



肉冠のチアノーゼ



顔面の浮腫性腫脹



突然死



写真出典：農研機構動物衛生研究部門

**早期発見
早期通報**をお願いします。

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	韓国(10件)	家きん(産卵鶏、 種アヒル、肉用アヒル)	令和3年12月23日 ～令和4年1月26日
		韓国(3件) 香港	野鳥 家きん	令和3年12月6日、12月22日 令和3年12月16日
	H5N2	台湾(4件)	家きん	令和4年1月13日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国 ロシア	野生イノシシ 豚	令和3年12月30日 令和4年1月12日
口蹄疫 (FMD)	O型	中国	ヤク	令和3年10月27日

令和4年(2022年)2月1日現在

毎月20日はくまもと家畜防疫の日

韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。
下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

